

第 37 回社会言語科学会研究大会 プログラム

◎1日目 2016年3月19日(土)

9:30	受付開始	〔3号館 1F ロビー〕
10:00	開会	
10:00-12:15	研究発表(口頭発表)	
	セッション 1	〔3号館 3F 3303 教室〕
	セッション 2	〔3号館 3F 3305 教室〕
	セッション 3	〔3号館 3F 3308 教室〕
	セッション 4	〔3号館 3F 3310 教室〕
12:15-13:15	昼休み(理事会)	
13:15-13:20	開催校ご挨拶	〔3号館 3F 3307 教室〕
	加藤 直人(日本大学副学長・文理学部長)	
13:20-13:25	会長挨拶	〔3号館 3F 3307 教室〕
13:25-14:45	大会発表賞授賞式	〔3号館 3F 3307 教室〕
	徳川宗賢賞授賞式および記念講演	
	○優秀賞: 該当論文なし	
	○萌芽賞: モスク教室における在日パキスタン人児童のコードスイッチング	
	山下 里香(東京大学・日本学術振興会)	
	知的障害者への「わかりやすい」情報提供に関する検討	
	—「ステージ」の実践と調査を中心に—	
	打浪(古賀) 文子(淑徳大学短期大学部)	
	相互行為としてのほめとほめの応答—聞き手の焦点ずらしの応答に注目して—	
	張 承姫(関西学院大学大学院・日本学術振興会特別研究員 DC [※])	
	※現在の所属は関西学院大学大学院・日本学術振興会特別研究員 PD.	
14:45-15:00	休憩	
15:00-18:00	シンポジウム	〔3号館 3F 3307 教室〕
18:30-	懇親会	〔3号館 1F 秋桜(コスモス)〕

◎2日目 2016年3月20日(日)

9:30	受付開始	〔3号館 1F ロビー〕
10:30-11:45	研究発表(ポスター発表)	〔3号館 3F 廊下〕
11:45-13:00	昼休み(各委員会)	
13:00-15:15	研究発表(口頭発表)	
	セッション 5	〔3号館 3F 3303 教室〕
	セッション 6	〔3号館 3F 3305 教室〕
	セッション 7	〔3号館 3F 3308 教室〕
	セッション 8	〔3号館 3F 3310 教室〕

口頭発表

1 日目 2016 年 3 月 19 日 (土) 10:00~12:15

セッション 1 [3 号館 3F 3303 教室] 司会：大場 美和子 (昭和女子大学)

- | | |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 10:00-10:30 | 繰り返し同時発話はなぜ生じるのか
—メタコミュニケーションからの日本語異ジャンル間比較—
竹田 らら (東京電機大学) |
| 10:35-11:05 | 自閉症スペクトラムの症状のメタコミュニケーションへの表出
—二者間会話の共同構築をめぐって—
合崎 京子 (立教大学) |
| 11:10-11:40 | 約束をキャンセルするメールの談話構造—当日キャンセルのメールの分析—
カムトーンティップ タワット (大阪大学) |
| 11:45-12:15 | パフォーマンスとしてのほめ／ほめ返答—恋人間会話分析—
大塚 生子 (大阪工業大学) |

セッション 2 [3 号館 3F 3305 教室] 司会：杉浦 秀行 (茨城大学)

- | | |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 10:00-10:30 | ほめ連鎖はどのように終了に向かうのか—「ほめ」を巡るほめ手と受け手の交渉—
張 承姫 (関西学院大学・日本学術振興会) |
| 10:35-11:05 | 彼はなぜ話し続けたのか
—独占された NS-NNS ディスカッションをめぐり内省と会話分析—
中村 香苗 (淡江大学) |
| 11:10-11:40 | 教室談話の相互行為的制度的性—中学校での授業場面における挙手行動の観察から—
小出 優子 (立命館大学), 岡本 雅史 (立命館大学) |

セッション 3 [3 号館 3F 3308 教室] 司会：橋本 直幸 (福岡女子大学)

- | | |
|-------------|--------------------------------------------------------------------|
| 10:00-10:30 | 日・英語初対面会話に見られる引用ストラテジーと意味の多層性の構築
岩田 祐子 (国際基督教大学) |
| 10:35-11:05 | 親族間で運用される他称詞のゆれ—弱者を救う視点の取り方—
小森 由里 (国際基督教大学, 立教大学) |
| 11:10-11:40 | 『坊ちゃん』からみた日本語とシンハラ語における肯定・否定応答表現の比較
ウィラシンハ デイリニ (首都大学東京) |
| 11:45-12:15 | 企業経営者との対話を通じたインターン留学生のキャリア探索
横須賀 柳子 (国土館大学) |

セッション 4 [3号館 3F 3310 教室] 司会：安井 永子（名古屋大学）

- | | |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10:00-10:30 | 言語景観から探るハワイ特有の日本語起源借用語
長門 正大（首都大学東京） |
| 10:35-11:05 | 在日外国人の母語における日本語借用語『定住語』
—在日外国人向けポルトガル語誌・スペイン語誌からの抽出とその分析—
斎藤 敬太（首都大学東京），志喜屋 カロリーナ（首都大学東京） |
| 11:10-11:40 | 在英邦人との国際結婚家庭における家庭内言語政策とその実態
秦 かおり（大阪大学） |
| 11:45-12:15 | 多言語使用児童の translanguaging の「社会言語学的」分析
—継承語使用と「声(voicing)」—
山下 里香（東京大学） |

2 日目 2016 年 3 月 20 日（日） 13:00~15:15

セッション 5 [3号館 3F 3303 教室] 司会：嶋 ちはる（国際教養大学）

※[セッション 5]のプログラムに誤りがあり，発表時間を一部訂正しました（2016.2.15）

- | | |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 13:00-13:30 | 「もし私と会ってデートをしてくれるなら・・・」
—「逆援」スパムメールをどのように読み取るか—
Peter Backhaus（早稲田大学） |
| 13:35-14:05 | バイセクシュアル（両性愛者）への視点—性的少数者間での序列化の暗示性／明示性—
木場 安莉沙（大阪大学） |
| 14:10-14:40 | 政府刊行物の「わかりやすい版」の言語的特徴
—知的障害者が制度を理解するという観点による考察—
羽山 慎亮（名古屋大学），打浪 文子（淑徳大学短期大学部），
藤澤 和子（大和大学） |

セッション 6 [3号館 3F 3305 教室] 司会：建石 始（神戸女学院大学）

- | | |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 13:00-13:30 | 外国人居住者の日本語使用に対する当事者評価
—単言語使用地域出身者と多言語使用地域出身者の言語習慣との関わりを中心に—
高 民定（千葉大学），村岡 英裕（千葉大学） |
| 13:35-14:05 | ヘッジ使用における逆行転移の可能性
—中国人日本語学習者の「不同意」行為をデータとして—
堀田 智子（東北大学） |
| 14:10-14:40 | 香港における言語市場と日本語教育の変容—民間日本語学校を事例として—
青山 玲二郎（香港理工大学） |
| 14:45-15:15 | 香港の高等教育機関で日本語を主専攻とする学生の学び
—学習意欲と学習ストラテジーのミスマッチ—
羅 安碧（香港城市大学） |

セッション 7〔3号館 3F 3308 教室〕 司会：中東 靖恵（岡山大学）

- | | |
|-------------|-------------------------------------------------------|
| 13:00-13:30 | 会話における副詞的成分「たしかに」の認知プロセスの特徴
岩崎 拓也（一橋大学） |
| 13:35-14:05 | 誤解研究の意義—発話の字義的意味と行為としての意味の不可分性—
岡久 太郎（京都大学） |
| 14:10-14:40 | 沈黙は誰に属するのか—語用実践行為としての沈黙の主体—
種市 瑛（立教大学） |
| 14:45-15:15 | 日本語の間接依頼発話行為における「慣習性」—障害仮説に基づく検討—
張 麗（広島大学） |

セッション 8〔3号館 3F 3310 教室〕 司会：田附 敏尚（神戸松蔭女子学院大学）

- | | |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 13:00-13:30 | 「今」、「最近」の自己と英語と英語学習
—相互行為的視座による態度, アイデンティティ, 英語学習動機へのアプローチ—
岡田 悠佑（大阪大学） |
| 13:35-14:05 | 日本人と外国人の英語会話における対人関係の構築
—English（英語）をめぐるやりとりに焦点をあてて—
山本 綾（昭和女子大学） |
| 14:10-14:40 | 日本人大学生が持っている英語に対するイメージと英語母語話者主義が与えている影響について
五十嵐 優子（武庫川女子大学） |

ポスター発表

2日目 2016年3月20日（日） 10:30-11:45

〔3号館 3F 廊下〕 司会：坊農 真弓（国立情報学研究所）

- | | |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| P-01 | 読字障害を持つ児童への支援について—タブレットの読み上げ機能を用いたテストを通して—
板垣 静香（関西学院大学），青戸 正裕（神戸市立霞ヶ丘小学校） |
| P-02 | 勧誘の場面で用いられる否定疑問文はなぜポライトな表現になるのか
許 夏玲（東京学芸大学） |
| P-03 | 重複の少ない話者交替を実現するラジオトークの言語使用に関する分析
清藤 弥生（東京工科大学），寺岡 丈博（東京工科大学），榎本 美香（東京工科大学） |
| P-04 | ある品詞として具現化された心的表象に対応するジェスチャーの時間的構造の分析
金子 慶也（東京工科大学），寺岡 丈博（東京工科大学），榎本 美香（東京工科大学） |
| P-05 | 話題の展開に寄与する聞き手の役割—日・英語初対面会話の対照分析—
大谷 麻美（京都女子大学），岩田 祐子（国際基督教大学），重光 由加（東京工芸大学） |
| P-06 | 震災報道の在り方を捉え直す—<被災した人>と<そうでない人>の断絶から—
堀口 典子（桜美林大学） |

- P-07 テレビニュースにおける人間・経済・社会の表象**
—「TPP 大筋合意」の報道のクリティカル・ディスコース分析—
糟屋 美千子（兵庫県立大学）
- P-08 再勧誘後における断り発話の出現について—日本人女子学生とインドネシア人女子学生の比較—**
吉田 好美（早稲田大学）
- P-09 とりたて詞「も」の語用論的考察—文脈との関わりから—**
稲吉 真子（北海道大学）
- P-10 社説記事における日本の少子化原因の表象**
—批判的ディスコース分析（Critical Discourse Analysis）の観点から—
稲永 知世（帝塚山学院大学）
- P-11 撮影データの分別・分類に着目した景観文字調査ツール**
田島 孝治（岐阜工業高等専門学校）、佐村 拓哉（岐阜工業高等専門学校）、
堤 智昭（国立国語研究所）、高田 智和（国立国語研究所）
- P-12 介護福祉士国家試験の筆記試験で使用された文法・語彙項目の特徴の分析**
大場 美和子（昭和女子大学）
- P-13 Twitter の言語資料的性格—発信者と受信者の関係性の観点から—**
岡田 祥平（新潟大学）、西川 由樹（新潟大学）
- P-14 日本語の終助詞「ね」に関する韓日対照研究**
—韓国語の文末形式と終助詞「ね」の機能の対応関係を中心に—
朴 美貞（昭和女子大学）

シンポジウム

1 日目 2016 年 3 月 19 日（土） 15 : 00 – 18 : 00

〔3 号館 3F 3307 教室〕

「異文化理解のための解放的語用論」

- 課題解決談話にみる自己と他者—日本語・英語・韓国語・タイ語の比較からの解放的語用論—
藤井 洋子（日本女子大学）
- 日英語の語りに対する共感的理解の様態—解放的語用論の視点—
植野 貴志子（東京都市大学）
- 名詞表現への選好性に見られる語用論的基盤の言語差—日韓国語を対象として—
堀江 薫（名古屋大学）
- 日・英語のナラティブに見る空間的視点取りの異同について
片岡 邦好（愛知大学）
- 動的対話相互行為としての文化理解
片桐 恭弘（公立ほこだて未来大学）